４ 事業評価一覧表

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
								《目標値に対する進捗率》								
1	1	1	ブックスタート事業(絵本の配布)	できるだけ早い時期に全ての子供に「絵本」と出会う機会を作り、親子が触れ合い、語り合い、絆を深めることを目的に、保健センターで行われる4か月児健康相談の機会に絵本を配布する。	保健センター	図書館	絵本配布率	93.0% 《97.9%》	60.6% 《63.8%》	77.8% 《81.9%》	79.7% 《83.9%》	85.8% 《90.3%》	95.0%	概ね達成できた	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各保健センターで予約制の４か月児健康相談を行っていたが、10月より集団での4か月児健康相談を再開し、相談時にブックスタートの意義を伝え、絵本と共に資料の配布を行った。目標値には到達しなかったが、前年度に比べ実績は増加した。	引き続き集団での4か月児健康相談時に読み聞かせを実施し、親子が絵本を通して触れ合い、語り合い、親子の絆を深められ、生涯を通じて読書を楽しむことができるような声掛けを行うとともに、図書館の利用も促していく。
		2	セカンドブック事業	より多くの本と出会う機会を提供するため、1歳6か月児健康診査を受診した子供に、図書館で絵本を1冊手渡し、来館やおはなし会への参加を促す。	図書館	保健センター	絵本配布率	53.9% 《77.0%》	43.1% 《61.6%》	52.1% 《74.4%》	45.4% 《64.9%》	44.7% 《63.9%》	70.0%	あまり達成できていない	絵本の配付期限を3歳の誕生日から4歳の誕生日までに変更し、より長い期間受け取れるようになった。これに伴い、幅広い年齢の子供が楽しめるよう配付絵本を一部変更した。 1歳6か月児健康診査時の保健師による「セカンドブック招待券」の説明を再開した。 明治安田生命、ほけんの窓口との連携によるチラシ配布、消費生活センターでのチラシ配布を新たに行った。また、京葉銀行、イオンモール船橋等でデジタルサイネージを放映した。	令和4年度と比較すると配付率が低下しているが、これは、例年最も配付数が多い中央図書館の空調設備改修工事に伴う休館が影響していると考えられる。中央図書館の休館期間を除いた配付率は54.5%であり、前年度よりも増加している。 また、1歳6か月児健康診査時の「セカンドブック招待券」の説明が再開したことで、今後は対象者の事業への認知が高まっていくと考えられる
3		3	公立保育園での保護者への啓発	図書館主催講座のパンフレットやポスターを掲示し、保護者へ情報提供を行う。	公立保育園	図書館	掲示した園数	2園 《7.4%》	26園 《96.3%》	27園(全園) 《100.0%》	27園(全園) 《100.0%》	27園(全園) 《100.0%》	27園(全園)	達成できた	園にポスターを掲示し、保護者への周知を図った。	引き続き取り組んでいく。
		4	児童ホームにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	児童ホーム	図書館	講座の実施館数	4館 《19.0%》	1館 《4.8%》	4館 《19.0%》	8館 《38.1%》	12館 《57.1%》	21館(全館)	達成できていない	児童ホーム12館で図書館など関係機関と連携して講座を実施した。	昨年度と比べ実施館数は増加した。未実施施設に対し、図書館など関係機関と連携して講座を実施するよう再度周知を図る。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値（平成29年度）	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値（令和7年度）	評価	当年度取組（令和5年度）	現状の課題・今後の取組
								《目標値に対する進捗率》								
3	1	5	子育て支援センターにおける講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して講座を実施する。	子育て支援センター	図書館	講座の実施施設数	―	0施設	2施設（全施設）	2施設（全施設）	2施設（全施設）	2施設（全施設）	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて図書館など関係機関と連携して講座を実施した。	今後も引き続き事業を実施していく。
								―	《0.0%》	《100.0%》	《100.0%》	《100.0%》				
		6	公民館における講座等を通じた保護者への啓発	保護者に子供への読み聞かせや読書の重要性を伝えるため、図書館など関係機関と連携して読み聞かせのポイントや本の選び方など、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝える講座を実施する。	公民館	図書館	講座の実施館数	7館	0館	4館	2館	3館	26館（全館）	達成できていない	社会教育関係団体と連携し読み聞かせボランティア研修を実施した。定員を上回る応募があり、参加者の90%が満足する内容となった。各公民館の地域課題に対応するための講座が年々増え、年間で実施できる講座数も限られることから、実施館が3館にとどまっている。	今後はステップアップできるよう講座を複数回に分けることや、経験者も理解を深められる内容を検討する。また、本事業の重要性を改めて全館で共有し、講座の実現に繋げていきたい。
								《26.9%》	《0.0%》	《15.4%》	《7.7%》	《11.5%》				
1	2	7	保護者や読み聞かせグループ等への啓発	読み聞かせ初心者の方向けに、図書館主催で読み聞かせの方法等についての講座を開催する。	図書館	―	講座の実施回数	―	1回	7回	7回	7回	8回	概ね達成できた	各図書館で読み聞かせ初心者の方や保護者向けに、入門講座や紙芝居講座を開催することができた。	今後も継続的に講座を開催し、目標である回数を実施できるよう工夫していく。
								―	《12.5%》	《87.5%》	《87.5%》	《87.5%》				
		8	保護者や読み聞かせグループ等への啓発（講師派遣）	読書の重要性や読み聞かせの方法を伝えるため、まちづくり出前講座や各施設の講座に講師派遣を行う。	図書館	公民館等	講師派遣回数	6回	0回	1回	11回	23回	10回	達成できた	公民館・児童ホームからの講師派遣依頼が増加し、目標値を達成することができた。	今後も各施設と連携し、読み聞かせグループ等と情報共有しながら、子供に関わる大人を対象とした読み聞かせ講座等を行っていく。
								《60.0%》	《0.0%》	《10.0%》	《110.0%》	《230.0%》				
		9	10代の利用者向け事業の実施	10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施する。	図書館	―	10代の利用者向け事業の開催回数	1回	0回	5回	6回	4回	8回	達成できていない	将来を決めるために役立つような職業に関する講座や学校と連携した企画展示を開催した。更に人気ユーチューバーを講師に招き、勉強のモチベーションアップや読書推進を目的としてノート術の講座を実施した。 また若い世代が活用しているXを活用し、オンライン投稿企画を開催した。	当初目標値に向けて引き続き企画を進めていく。今後も10代の利用者が興味・関心のある講座・企画等を開催していく。 また10代の利用者が参加しやすいよう、オンラインやXを使用するなど工夫していく。
								《12.5%》	《0.0%》	《62.5%》	《75.0%》	《50.0%》				

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値（平成29年度） 《目標値に対する進捗率》	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値（令和7年度）	評価	当年度取組（令和5年度）	現状の課題・今後の取組
1	2	10	YAコーナーを活用した交流の場の提供	10代の利用者によるおすすめ本の紹介コーナーを設置する等、利用者同士が読書を通じて交流していく場を提供する。	図書館	―	参加人数	― ―	160人 《 80.0% 》	277人 《 138.5% 》	238人 《 119.0% 》	181人 《 90.5% 》	200人	概ね達成できた	各図書館に設置したコミュニケーションボードを用いて、図書館側が提示したテーマに対する投稿を掲示した。また、投稿内容をHPやXに載せることでより多くの目に触れるようにした。	令和５年度は中央図書館が改修工事で閉館した期間があったため、例年よりも参加した人数が少なくなった。テーマによって投稿数に変動がある。YA世代が興味を持ちそうなテーマを設定できるように、情勢や中学高校の年間行事予定等を考慮していく。
2		11	外国語の図書の充実	日本語以外の言葉を母国語とする子供向けの図書等の充実を図る。	図書館	―	外国語の図書の蔵書数	1,529冊 《76.5%》 ※当初目標値 2,000冊	2,030冊 《101.5%》 ※当初目標値 2,000冊	2,104冊 《105.2%》 ※当初目標値 2,000冊	2,119冊 《106.0%》 ※当初目標値 2,000冊	2,215冊 《 98.9% 》	2,240冊	概ね達成できた	目標値の達成に向けて計画的に購入し、前年度より96冊増加した。	外国語の本に親しんでもらえるよう、今後も計画的に購入していく。
		12	ハンディキャップサービスの充実	多様な支援を必要とする子供のための図書等（点字絵本・LLブック等）の充実を図る。	図書館	―	点字絵本の所蔵状況	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	前年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす。	達成できた	令和５年度の点字絵本の所蔵数は112冊、LLブックの所蔵数は144冊であり、令和４年度と比較して点字絵本は1冊、LLブックは26冊増加した。	今後も多様な支援を必要とする子供のために所蔵数を増やしていく。
							LLブックの所蔵状況	有2館 ―	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	有4館 （全館） ―	前年度と比較し、各種類の蔵書数を増やす。			
3		13	YAだよりの配布	10代の利用者向けに「YAだより」等で情報発信を行う。	図書館	―	発行回数	1回 《25.0%》 ※当初目標値 4回	9回 《225.0%》 ※当初目標値 4回	10回 《250.0%》 ※当初目標値 4回	10回 《250.0%》 ※当初目標値 4回	10回 《 100.0% 》	10回	達成できた	西図書館で4回・東図書館で６回、YAだよりを発行した。西図書館のYAだよりでは、コーナー自体の周知を図るため、年度初めにYAコーナーの紹介を載せた。新刊や特集展示の紹介のほかに、投稿されたおススメの本やイラスト、YA向け講座の講師へのインタビュー等を掲載した。また、ホームページにYAだよりを掲載し、図書館に来館することが難しい方も閲覧できるようにしている。	これからも10代の興味を惹く記事にしていく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
								《目標値に対する進捗率》								
1	2	14	児童ホームでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全館)	児童ホーム	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	1,456回 《 85.6% 》	114回 《 6.7% 》	683回 《 40.2% 》	1,233回 《 72.5% 》	829回 《 48.8% 》	1,700回	達成できていない	各児童ホームにおいて、おはなし会イベントや事業の中で絵本の読み聞かせ活動を実施した。	令和4年度において、毎日1、2回乳幼児親子を対象にふれあい遊びや絵本の読み聞かせ等を行っていた館が、令和5年度は当該事業の実施日を限定したため、実施回数が減少してしまった。施設により実施回数に差があるため、回数の少ない施設へ事業の中で積極的に読み聞かせ活動を実施するよう周知を図る。
		15	子育て支援センターでの読み聞かせ活動の実施	地域の子育て支援の一環として、乳幼児と保護者を対象とした、職員やボランティアによる絵本の読み聞かせ活動を実施する。(全センター)	子育て支援センター	地域文庫・ボランティア等	読み聞かせ活動の実施回数	24回 《85.7%》 ※当初目標値28回	8回 《28.6%》 ※当初目標値28回	23回 《82.1%》 ※当初目標値28回	469回 《1675.0%》 ※当初目標値28回	449回 《 89.8% 》	500回	概ね達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにおいて、おはなし会イベントや事業の中で絵本の読み聞かせ活動を実施した。	今後も引き続き事業を実施していく。
		16	公民館におけるおはなし会の実施	幼児や児童を対象とした読み聞かせ、わらべうた、手遊び等を行い、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供する。	公民館	地域文庫・ボランティア等	実施館数	13館 《 50.0% 》	7館 《 26.9% 》	12館 《 46.2% 》	11館 《 42.3% 》	13館 《 50.0% 》	26館 (全館)	達成できていない	幼児を対象とした読み聞かせ、わらべうた、手遊び等を行い、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供した。 文化課が日本財団と取り組む夏見の民話「雪どけ塚の白ヘビ」のアニメ完成披露と語り部による海の民話の紹介を、八栄小、公民館も協働により同校４年生１８０名を招いて開催した。	平日開催の場合は、参加者数が伸び悩む傾向にあるため、土日の開催も検討していく。また、人口減少地区の公民館区では、特に世代間交流の機会を望む声が多くあるため、「おはなし会」を通して、読書に興味・関心を持たせたり、読書に親しんだりする機会を提供するとともに、世代間交流の場としていく。また、実施した館の実績（参加者の反応や募集状況等）を未実施の館に共有することで、「おはなし会」をより身近でイメージのつきやすい事業とし、実施に繋げたい。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
									《目標値に対する進捗率》							
1	2	17	公民館における読書感想文講座の実施	読書の習慣がない小学生を対象に読書感想文の書き方講座を実施する。	公民館	―	実施館数	3館 《 11.5% 》	0館 《 0.0% 》	8館 《 30.8% 》	9館 《 34.6% 》	10館 《 38.5% 》	26館(全館)	達成できていない	文章表現への苦手意識の克服と表現力の向上を目的に、文章校正や表現方法を学ぶ講座を実施した。	講師を探すこと、講座の内容から一度に多くの参加者を募れないこと等に苦慮している。 講座はどれも好評だったことから、小学生の中でも様々な学年を対象として引き続き実施していきたい。 未実施の館については、数ある地域課題へ向けた講座との調整を図り実施に繋げていきたい。
		18	講座等を通じた子供が本に触れる機会の提供	公民館で行われる子供や親子向けの講座等において、講座に関連した図書を紹介し、遊ぶ・作るなどの体験と読書を結び付け、読書の楽しさや関心を持つ機会を提供する。	公民館	図書館	実施館数	― ―	0館 《 0.0% 》	0館 《 0.0% 》	1館 《 3.8% 》	0館 《 0.0% 》	26館(全館)	達成できていない	公民館の地域課題に対応するための講座が年々増え、年間で実施できる講座数も限られることから、今年度の実施館はなしとなった。	今後は、事業担当者会議などで情報の共有を図り、実施館数を増やしていきたい。
2		19	放課後ルームの図書の購入	図書館の団体貸出を利用しているものの、蔵書数が少ないとの声があるため、新たに図書を購入し、蔵書の充実を図る。	放課後ルーム	―	新たに図書を購入する冊数	― ―	1,268冊 《63.4%》 ※当初目標値2,000冊	2,133冊 《106.7%》 ※当初目標値2,000冊	2,695冊 《134.8%》 ※当初目標値2,000冊	3,478冊 《 77.3% 》	4,500冊	あまり達成できていない	令和７年度目標達成にむけて計画的に図書の購入を行っている。	当初目標を達成したため、令和５年度に目標値の見直しを行った。 令和7年度に向けて、計画的に図書の購入を行い、充実を図っていく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
									《目標値に対する進捗率》							
3	2	20	児童ホームでの「子ども読書の日」等にちなんだ普及啓発の推進	「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ、本に関連した事業の実施を図る。	児童ホーム	―	読み聞かせ活動等の実施館数	7館 《33.3%》	0館 《0.0%》	15館 《71.4%》	15館 《71.4%》	15館 《71.4%》	21館(全館)	あまり達成できていない	読書週間中の読み聞かせ活動などを7割の児童ホームで実施した。	今後は全館で実施していくよう各施設への周知を強化する。
		21	子育て支援センターでの「子ども読書の日」等にちなんだ普及啓発の推進	「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ本に関連した事業の実施を図る。	子育て支援センター	―	読み聞かせ活動等の実施施設数	2施設(全施設) 《100.0%》	0施設 《0.0%》	2施設(全施設) 《100.0%》	2施設(全施設) 《100.0%》	2施設(全施設) 《100.0%》	2施設(全施設)	達成できた	南本町子育て支援センター及び高根台子育て支援センターにて講座を実施し、目標値を達成した。	今後も引き続き事業を実施していく。
2		22	公立保育園職員の絵本に関する技術向上	職員の技術向上のため、図書館職員による絵本やお話の講座に参加する。	公立保育園	図書館	参加園数	― ―	0園 《0.0%》	0園 《0.0%》	0園 《0.0%》	0園 《0.0%》	27園(全園)	達成できていない	令和５年度より徐々に新型コロナウイルスによる自粛を解除しているところだが、当該講座への参加は見送った。	保育園の人員不足のため図書館を訪れることが難しいため、図書館職員による出張講座の検討を進めている。
1	3	23	学校図書館運営計画の作成	読書年間指導計画や学校図書館運営計画を作成し、図書主任を中心として、全教職員が共通理解のもと連携・協力して児童生徒の読書指導を進める。	小･中･特別支援学校	―	学校図書館運営計画を作成している学校数	82校(全校) 《100.0%》	82校(全校) 《100.0%》	83校(全校) 《101.2%》	83校(全校) 《101.2%》	82校(全校) 《100.0%》	82校(全校)	達成できた	各学校に学校図書館の年間学習計画の作成を啓発した。	令和6年度の5月に開催した図書主任研修会で、年間学習計画に情報活用の指導計画も記載すること、「学習センター」としての機能の充実を図ることを各校に指導した。 引き続き啓発を行っていく。
		24	「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施	読書習慣を身に付けさせるため「朝読書」や「読み聞かせ」等を、各学校の実情に合わせて取り組む。	小･中･特別支援学校	―	朝読書、読み聞かせ等を実施している学校数	82校(全校) 《100.0%》	70校 《85.4%》	77校 《93.9%》	81校 《98.8%》	80校 《97.6%》	82校(全校)	概ね達成できた	「朝読書」や「読み聞かせ」等の実施について、各校に啓発を行っているが、100%を達成することができなかった。金杉台中学校が統合されたため、令和４年度と比べ実績校が１校減少した	新規の学校司書も増えているため、実施方法や各校の実態に合った取り組み方について、研修会等を通じて指導していく。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
								《目標値に対する進捗率》								
1	3	25	読書習慣の形成	卒業までに一定量の読書を推奨する等、学校や家庭における読書習慣が身に付くよう促す。	小･中学校	―	児童生徒総貸出冊数	3,689,527冊 ※目標冊数 3,600,000冊 《 102.5% 》	3,402,300冊 ※目標冊数 4,000,000冊 《 85.1% 》	3,731,833冊 ※目標冊数 4,000,000冊 《 93.3% 》	3,872,185冊 ※目標冊数 4,000,000冊 《 96.8% 》	3,700,563冊 ※目標冊数 4,000,000冊 《 92.5% 》	※「船橋市国語力向上推進委員会」が設定する目標冊数	概ね達成できた	貸出総数は令和4年度よりも、170,000冊ほど減少した。子供たちの学習・生活環境が変化しているため、研修会等を通じて各校に利活用の推進について指導した。	各校の取組や一人一台端末と学校図書館、双方の良さを生かした活用方法を共有することで、令和6年度も4,000,000冊を目標に読書量の向上を啓発していく。
		26	読書意欲を高める取組の実施	ポップづくりやブックトーク、ビブリオバトル等、児童生徒が相互に図書を紹介する活動や、読書意欲を高める取組を行う。	小･中学校	―	取組を実施している学校数	80校 《 98.8% 》	80校 《 98.8% 》	80校 《 98.8% 》	81校 《 100.0% 》	81校 (全校) 《 100.0% 》	81校 (全校)	達成できた	ICTの活用など、読書意欲向上を目指し、各校が積極的に取り組んでいた。	図書主任を中心に研修会や要請訪問等を通して、学校図書館の連携や読書を積極的に取り入れた国語科学習を実施するよう啓発していく。
		27	大穴小学校市民図書室おはなし会の実施	地域のボランティア団体と連携し、市民図書室内で絵本の読み聞かせ等を行うおはなし会を実施する。	市民図書室	ボランティア	おはなし会の年実施回数	44回 《52.4%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	53回 《63.1%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	56回 《66.7%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	60回 《71.4%》 ※当初目標値はおはなし会の延実施回数	4回 《 100.0% 》	4回 おはなし会の年実施回数	達成できた	計画通り事業を実施することができた。	引き続き事業を実施していく。
2		28	学校図書館の蔵書の管理	定期的に蔵書点検を行い、新しい本と使用に耐えない本との入れ替えを図りながら、「学校図書館図書標準」（文部科学省）で定める基準冊数を維持できるよう学校図書館の蔵書を管理する。	小･中･特別支援学校	―	「学校図書館図書標準」基準冊数を達成している学校数	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	83校 (全校) 《 101.2% 》	83校 (全校) 《 101.2% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	達成できた	令和5年度、全ての小中特別支援学校で学校図書館図書標準を達成することができた。	引き続き100%を切ることがないように廃棄冊数を管理し、学校図書標準の維持に努める。

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
								《目標値に対する進捗率》								
2	3	29	学校図書館資料の充実	子供たちが幅広いジャンルから本を選び、多くの図書に触れる機会がもてるよう、図書主任や司書教諭、学校司書を中心に学校図書館資料の充実を図る。	小･中･特別支援学校	―	図書選定委員を組織している学校数	72校 《 87.8% 》	43校 《 52.4% 》	49校 《 59.8% 》	66校 《 80.5% 》	68校 《 82.9% 》	82校(全校)	概ね達成できた	選書・廃棄の図書の選定について組織化されている学校が増えている。しかし、依然として学校司書に任され、図書主任等には報告だけになっている学校もある。	図書の選書や廃棄を管理職を含め組織的に行うよう、研修会等を通して、今後も啓発していく。
		30	特設コーナーの設置	総合的な学習の時間や教科等の授業で学んでいる内容の本や、季節ごとの行事に関した本などを集めた「特設コーナー」の設置を行う。	小･中･特別支援学校	―	特設コーナーを設置している学校数	75校 《 91.5% 》	79校 《 96.3% 》	82校 《 100.0% 》	82校 《 100.0% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校)	達成できた	全小中特別支援学校の学校図書館で、学校司書が創意工夫した特設コーナーが設置されている。	他校の学校図書館を見学する研修や報告書等により、各校のアイデアを共有できるようにする。
		31	障害のある児童生徒への読書環境の整備	LLブックや点字本等、発達に応じた図書資料の整備を行う。	小･中･特別支援学校	―	発達に応じた図書資料を所蔵している学校数	72校 《 87.8% 》	68校 《 82.9% 》	72校 《 87.8% 》	78校 《 95.1% 》	77校 《 93.9% 》	82校(全校)	概ね達成できた	障害のある児童生徒が在籍するか否かで、発達に応じた図書資料の整備状況が異なっている。	新規や異動の学校司書に対して、前任から図書の情報が適切に引き継がれていない現状がある。引継書の内容を見直し、自校の図書情報の把握に努めていく。引き続き、各学校に障害者の読書環境整備を啓発していく。
		32	図書物流の活用	図書館と学校図書館、各学校図書館の間で、図書相互貸借のための図書物流の活用を図るとともに、図書館と学校図書館の横断検索等により、図書館活用の幅を広げる。	小･中･特別支援学校	図書館	図書物流を利用した学校数	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	83校(全校) 《 101.2% 》	83校(全校) 《 101.2% 》	82校(全校) 《 100.0% 》	82校(全校)	達成できた	令和5年度は全小中特別支援学校が図書物流を利用することができた。総物流件数は17,840件だった。	令和6年度も年間37回実施し、公立図書館と連携しながら、学校図書館活用を推進していく。
		33	図書主任、学校司書の資質向上	児童生徒の自主的な読書活動を推進していくために、図書主任、学校司書の研修の機会を設け、教職員等の資質向上に努める。	小･中･特別支援学校	―	図書主任の研修会の件数	3件 《 100.0% 》	2件 《 66.7% 》	3件 《 100.0% 》	3件 《 100.0% 》	3件 《 100.0% 》	3件	達成できた	全ての研修会を実施することができた。2月の研修会は、講師を招き、ICTの活用について講演を行った。	各校の要望をもとに他校の学校図書館見学、学校司書と図書主任の連携等についての研修を充実させ、学校司書・図書主任等の資質向上を図る。
							学校司書の研修会の件数	4件 《 100.0% 》	2件 《 50.0% 》	3件 《 75.0% 》	4件 《 100.0% 》	4件 《 100.0% 》	4件			
							内、合同研修	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件 《 100.0% 》	小中各1件			

基本方針	方策	事業No.	事業名	事業概要	施設	連携先	指標	計画策定時の現状値(平成29年度)	直近の実績 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値(令和7年度)	評価	当年度取組(令和5年度)	現状の課題・今後の取組
								《目標値に対する進捗率》								
2	3	34	ボランティアとの連携	ボランティアとの連携を図り、学校図書館の環境づくりや児童生徒への読み聞かせ等を行う。	小･中学校	地域文庫・ボランティア等	ボランティアを導入している学校数	47校 《 58.0% 》	35校 《 43.2% 》	30校 《 37.0% 》	38校 《 46.9% 》	40校 《 49.4% 》	81校 (全校)	達成できていない	令和4年度より学校数は増加したが、外部人材を招くことを控えた学校が依然として多くなっている。	新型コロナウイルス流行以前の取組を知らない新規の学校司書が増えている。研修会や実践報告書等を活用し、各校の実践を共有することで、実情に合わせた取り組みを推進していく。
		35	市民図書室の蔵書の充実	地域住民の生涯学習の振興に資するため、市民図書室の蔵書の充実を図る。	市民図書室	―	全体の蔵書数	35,036冊 《96.8%》 ※高根小学校と大穴小学校の2校で計算	24,405冊 《67.4%》	25,670冊 《70.9%》	26,844冊 《74.2%》	27,907冊 《 103.4% 》	27,000冊	達成できた	【大穴小学校市民図書室】 大穴小学校市民図書室は、利用傾向に合った新刊書やリクエスト資料を購入した。 【高根小学校市民図書室】 定期的な図書の購入により、継続して蔵書の充実を図った。	継続して蔵書の充実を図っていく。
3		36	「子ども読書の日」等における啓発	「子ども読書の日」や「読書週間」に関連した取組を行う。	小･中学校	―	取組を実施している学校数	77校 《 95.1% 》	75校 《 92.6% 》	79校 《 97.5% 》	79校 《 97.5% 》	81校 (全校) 《 100.0% 》	81校 (全校)	達成できた	小学校は55校、中学校では26校で、読書祭り等の活動を実施した。読書意欲を高める活動への意識が高まっている。	引き続き、各校の実情に合わせた方法を推進していく。
		37	図書館便り・学校ホームページ等による情報の発信	学校便りや図書館便り、学校ホームページ等で図書に関する情報を発信する。	小･中･特別支援学校	―	情報を発信している学校数	80校 《 97.6% 》	80校 《 97.6% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	83校 (全校) 《 101.2% 》	82校 (全校) 《 100.0% 》	82校 (全校)	達成できた	全小・中・特別支援学校において、図書館だよりを発行し、情報発信を行っている。	引き続き、図書館だより等、情報の発信について働きかけていくとともに、ICTを活用した情報発信についても情報を共有していく。